

令和3年12月1日に思う

師走。どんよりした空、肌をさすような冷たい風が水源地の村をおおいつつあります。

昨年早々に発生した新型コロナウイルスは、世界で猛威をふるい日本を『感染列島化』させました。

今なお終息には至っていないものの、わが村では幸いにして感染者が出ていません（12月1日現在）。皆が自身を守り、他者を思い、地域を大切に考えた“村民の勝利、とまでは言えないものの誇りに思います。

引き続き、専門家の警告「第6波がある」を真摯に受け止め、今後も出来るかぎりの予防に努め油断せず細心の注意を払わなければなりません。

このほど誕生した岸田総理は、10月8日の所信表明で「早く行きたければ一人で進め、遠くまで行きたければみんなが進め」とアフリカのことわざを引用し、日本人の底力を信じているとされました。

ある意味、わが村の（私の）思いと重なります。誰ひとり置いてきぼりにしない、「皆で一緒に村づくり！」がめざすところでもあります。

そのためにも、来春から本格化させる「かわかみ源流ツーリズム」の理念である源流を保全し、地域資源を村民と行政が知恵を出し合いスクラムを組んで利活用し、日々の潤いに繋げることを着実かつ強固に推進し皆でより遠く（高み）をめざしたいと思います。

コロナウイルスはもちろんのこと、風邪やインフルエンザにも気をつけて、皆でよいお年を迎えましょう。